



NEWS RELEASE

報道資料

2007年11月26日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ 伊バッチーニ社を買収、ソーラー事業のロードマップを加速

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO マイケル・スプリンター) は 11 月 19 日 (現地時間)、イタリアのバッチーニ社 (Baccini S.p.A.) を買収する契約を結んだことを発表しました。バッチーニは、単結晶シリコン (c-Si) 太陽電池の製造に用いられる自動配線装置および試験装置の大手サプライヤーです。この装置は c-Si 太陽電池の製造における重要な処理ステップに対応し、太陽電池の変換効率と歩留まりに大きく関与するほか、きわめて薄いシリコンウェーハの利用も可能です。バッチーニの製品や技術をアプライド マテリアルズの半導体配線プロセスのノウハウや製造能力、研究開発リソースと組み合わせることで、先進的な c-Si 太陽電池を製造する世界レベルの自動生産技術をお客様に提供することができます。

バッチーニは創立 1967 年の株式非公開企業で、本社をイタリア・トレヴィーゾに置いています。同社は、業界で通常用いられているウェーハよりも大幅に薄い 120 μ m 厚未満のウェーハを処理できる最先端のハンドリング技術を持っています。これを利用して極薄ウェーハ処理の信頼性を高めれば、現在 c-Si 太陽電池の製造コストの 60% 以上を占めているシリコン材料の使用量を最小限に抑えることができ、次世代の太陽電池製造への道が開けます。

アプライド マテリアルズの社長兼 CEO マイケル・スプリンターは次のように述べています。「この買収によって、アプライド マテリアルズは業界有数の c-Si 太陽電池製造ソリューションプロバイダーとなるでしょう。c-Si 太陽電池と薄膜太陽電池の両市場に向けた主要サプライヤーとして、さらにコストダウンを追求し、太陽電池の製造規模を拡大して、太陽エネルギーに通常の電力と並ぶ競争力を持たせたいと考えています。イタリアはこれを早期に実現できる地理的ポテンシャルを持っており、私たちはこの国で課題への挑戦を進める機会を得たことに大きな喜びを感じています」

バッチーニ社は創立者ジスルフオ・バッチーニ会長のリーダーシップの下にイノベーションの伝統を育み、20 年以上も前に太陽電池業界初の配線板一貫製造ラインを投入したほか、現在では c-Si 太陽電池の量産に向けた各種のシステムや全自動ラインをとりそろえて業界をリードし、お客様の成功を支援しています。

バッチーニ氏は次のように述べています。「当社とアプライド マテリアルズは事業発展への強い意欲を共有し、どちらも 40 年にわたってイノベーティブで効率と生産性の高い製品を提供してきました。当社の技術とアプライド マテリアルズのプロセス、生産、製造ノウハウを統合することで、世界レベルのソーラーソリューションを全世界のお客様に提供する新たな能力が得られるでしょう」

アプライド マテリアルズはこの買収契約に基づき、バッチーニの全発行済株式を現金 2 億 2,500 万ユーロ（現行為替レートで約 3 億 3,000 万ドル）で取得します。取引の完了には、米国外の規制当局による承認など、慣習的な成立条件を満たす必要があります。両当事者は、2008 年初頭に取引が完了するものと予想しています。

本プレスリリースには、当社が予定しているバッチーニ社の買収と、この取引から期待される利点、当社のソーラー戦略、製品の機能、戦略的ポジションその他に関する将来の見通しが述べられています。こうした記述は既知または未知のリスクや不確定要素に左右されるため、実際の結果はこうした記述が明示ないし暗示する帰結と実質的に異なる場合があります。そうしたリスクや不確定要素としては、①取引成立条件の充足、②買収事業の円滑な統合と業績（受注残高の受取を含む）、③買収事業の内部統制とプロセスが十分かどうか、④太陽電池製品への需要（グローバルな経済状況、再生可能エネルギーに対する需要、コスト効率と性能、技術革新、業界標準の進化、政府による奨励策の有無、原材料の供給とコスト、国際情勢不安などの影響を受ける）、⑤市場関係者の持つ知的財産権、⑥当社が(i)広範な製品を開発・提供およびサポートし、既存市場を拡大ならびに新市場を開拓する能力、(ii)主要テクノロジーに関する知的財産権を取得ならびに保護する能力、(iii)買収取引から期待されるシナジー効果を実現する能力、(iv)太陽電池の高効率化と低コスト化を可能にする製品を実用化する能力、(v)サプライチェーンや生産能力を管理する能力、(vi)主要社員を勧誘し、意欲を高め、引き留める能力、⑦当社が証券取引委員会（SEC）に提出する書類に記載されているリスク、その他があります。将来見通しの記述はすべて 2007 年 11 月 19 日時点における経営陣の推定、予測、仮定に基づくものです。アプライド マテリアルズは将来見通しの記述を更新する義務を負っておりません。

アプライド マテリアルズは、Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーとして、半導体デバイス、フラットパネルディスプレイ、太陽電池などの製造装置ならびに、サービス、ソフトウェア製品を幅広く提供し、ナノマニュファクチャリングテクノロジーを人々のライフスタイル向上に役立てています。

詳しい情報はホームページ：http://www.appliedmaterials.com/news/index_6.html（日本

語) でもご覧いただけます。

このリリースは 11 月 19 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド
マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月
に設立。大阪支店ほか 15 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー
コーポレート マーケティング部 : 平澤 美香 (Tel: 03-6812-6807 / Fax: 03-6812-6833)
ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>
